

平成20年5月7日

各 位

株式会社日本トリム
 代表取締役社長 森澤紳勝
 (コード番号6788東証第一部)
 問い合わせ先
 専務執行役員 尾田 虎二郎
 TEL: 06-6456-4600

業績予想修正に関するお知らせ

当社は、平成20年1月21日の平成20年第3四半期財務・業績の概況発表時に公表した平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想(連結・個別)を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成20年3月期通期業績予想数値の修正(平成19年4月1日～平成20年3月31日)

①連結

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,715	673	743	322	70.77
今回修正予想(B)	8,748	862	929	439	96.73
増減額(B-A)	33	189	186	117	25.96
増減率(%)	0.4	28.1	25.0	36.3	36.7
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	9,571	1,390	1,488	793	173.07

②個別

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,573	847	945	332	72.97
今回修正予想(B)	8,608	949	1,054	356	78.44
増減額(B-A)	35	102	109	24	5.47
増減率(%)	0.4	12.0	11.5	7.2	7.5
(ご参考) 前期実績(平成19年3月期)	9,402	1,407	1,530	897	195.78

2. 業績予想数値の修正について

<連結>

(1) 営業利益予想が改善した要因

主な要因としては、下記のとおりであります。

- ① 整水器製造会社である連結子会社トリムエレクトリックマシナリーにおいて、整水器製造における材料の大幅な価額高騰を第4四半期は見込んでいましたが、仕入コスト全般の見直しを図った結果、最小限の影響にとどめることができました。
- ② 昨年11月より販売を開始した新商品の売上構成比が予想以上のスピードで向上した結果、売上総利益率が改善し、また、業務部門において、既存先で取引量が少なく非効率な先の見直しを行った結果、第4四半期における業務部門営業利益率が上昇しました。
- ③ 昨年度年央より取り組んでまいりました業務経費削減が、第4四半期において更に利益率改善に貢献しました。

(2) 経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益の予想が改善した要因

上記<連結>(1)の営業利益改善に準ずるものです。

<個別>

(1) 営業利益予想が改善した要因

上記<連結>(1)の②、③のとおりです。

(2) 経常利益、当期純利益、1株当たり当期純利益の予想が改善した要因

これは上記<個別>(1)の営業利益改善に準ずるものですが、当期純利益及び1株当たり当期純利益については、第4四半期において、当社連結子会社TRIMGENへの運転資金貸付増42百万円の50%にあたる21百万円を貸付金貸倒引当金繰入として計上するため、当期純利益は予想比7.2%増、1株当たり当期純利益は7.5%増に止まる見込みです。

※上記予想は、現時点において入手可能な情報に基づいて算出しておりますが、実際の業績は、今後の要因によって予想と異なる場合があります。

以 上